

ニッケルメッキ用変色防止剤

【従来の問題点 1】

- ・ニッケルメッキ液が変色防止剤に混入して液のくすみ、沈殿発生があり、メッキ表面に付着し汚れとなる問題がございました。

【解決 1】

- ・液のくすみ、沈殿発生が抑えられ、メッキ表面ならびに処理槽への汚れの発生を抑制できます

5%ニッケルメッキ用変色防止剤にニッケルメッキ液が1%混入した状態



ニッケルメッキ用変色防止剤従来品
液のくすみが発錆



ニッケルメッキ用弊社変色防止剤
液のくすみ、沈殿なし

【従来の問題点 2】

- ・ニッケルメッキ後に発生するピンホール部の下地の鉄が発錆する事例がありました。

【解決 2】

- ・ピンホール部の下地の鉄の錆の発生を抑えることができます。

【その他の特徴】

- ・電解、無電解ニッケルメッキに対して高い変色防止効果を発揮致します。
- ・変色防止処理後、表面に細かな塵などが付着しにくくきれいな表面状態を保ちます。
- ・結露による水シミの発生がありません。

【性能】



変色防止剤無処理
SST3 時間後の Ni めっき鋼板の外観
変色・発錆あり



5%ニッケルメッキ用変色防止剤処理
SST3 時間後の Ni めっき鋼板の外観
変色・発錆なし

【使用方法】

- ニッケルメッキ用変色防止剤をご使用前に、処理する表面を洗剤などできれいに洗ってください。
- ニッケルメッキ用変色防止剤を 5%程度に水道水で希釈し、製品をその液に浸漬またはスプレー処理し、乾燥してご利用ください。

【使用例】

ニッケルメッキ → 水洗 → 防錆処理：5%ニッケルメッキ変色防止剤水溶液、室温 30秒浸漬 → 乾燥：80°C×10分

【取扱い上の注意】

この資料に掲載した物性値は各種規格や試験法に規定された条件下で得られた試験片等に基づく測定値または代表的な数値です。この資料は当社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、ここに示したデータは異なった条件下で使用される材料、部品などにそのまま適用できるとは限りません。この内容が貴社の使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、活用に関しては貴社にて最終判断をお願いします。当社製品の安全な取り扱いにあたっては、安全データシート「SDS」をご参照下さい。この資料の内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により予告なく改訂することがありますのでご了承下さい。